

謹んで 吉澤 正 先輩に対し お悔やみ申し上げます。

RKM 会長 久我 昭雄

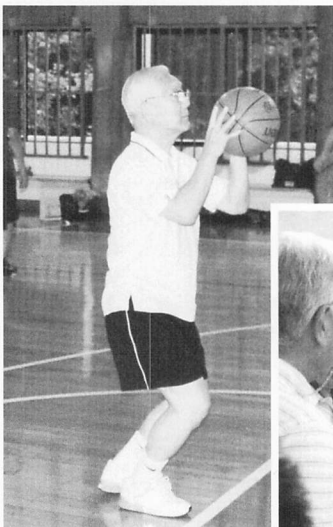
去る 12 月 17 日、前会長 吉澤 正さんがお亡くなりになりました。心からお悔み申し上げます。吉澤さんの入院、闘病生活を支えられたご家族や RKM 仲間の皆様も、さぞお力落としのこととお察し申し上げます。

RKM 仲間の方々からの前会長追悼のお言葉は、来夏発行する会報に掲載したいと存じます。今回は RKM 幹事メンバーとして、一言お礼とお別れを述べさせていただきます。

我々幹事メンバーは、吉澤さんが RKM 会長、武蔵高校同窓会長に就任される中、長年にわたりご指導いただきました。この間、会則を制定し、幹事の組織と役割分担を明確にさせていただき、100 周年に向けた RKM の基盤固めに注力されました。おかげさまで我々幹事も楽しく、気持ちよく会のお手伝いができ、感謝しております。

吉澤 正さん、お体を悪くされてからも、種々相談を持ち込み誠に申し訳ありませんでした。もうお声も聞けない寂しさの中で、今は吉澤さんのご冥福をお祈りするばかりです。

合掌



【ご葬儀の報告】



12月20、21日カトリック渋谷教会にて厳かな葬儀ミサが営まれ、RKMの多くの方が参列されました。2日間400人の参列者を代表して同期の佐室 瑞穂さんが、故人に語りかけるように、60年を超える友情と、故人の業績をお話になり、深い感銘を受けました。

同じくRKMである弟の吉澤 至(35期)さんから、お礼のメールを頂きました。

この度は有難うございました。お陰さまで滞りなく、葬儀を行うことができました事感謝しております。改めて、RKMの連帯感の強さを感じています。皆様に宜しくお伝えください。取り急ぎお礼申し上げます。

吉澤 至

ご葬儀に際し、RKMの方々に受付の手伝いをお願いしましたが、その中の58期松本一郎さんからのメールをご紹介します。

わざわざ、ご連絡、ありがとうございます。最近、あまりOB会にも顔を出すことができておらず、少しでもお役に立てたのであれば幸いです。通夜のあと、32期の清水先輩に声をかけて頂き、78期木本君、83期菅原君と駅まで一緒しました。道すがら先輩が「畑先生がこう言ってたんだけど」と話された言葉のほとんどを自分も記憶しており、驚くと同時に、非常に懐かしく思いました。ご存知の通り、木本君、菅原君は、ここ数年来、現役の面倒を見てくれている貴重な人材ですが、実際には指導を受けたことのない畑公の言葉にも、深く感銘を受けている様子でした。

現在、千葉大学3年生の83期菅原君が就職活動中、ということもあり、2人には積極的にOBを訪ね、先輩たちの語る畑公の言葉や指導スタイルを、少しでも参考にしてくれるよう話しておきました。諸先輩方にも、彼らのような若手が、RKMのDNAを、少しでも継承してくれる機会となるよう、可能な限り、お時間を割いて頂けると有り難いなと感じた次第です。

次回のOB会には、是非、参加させて頂きたいと、考えておりますので、よろしくお願いいたします。

RKM 58期 松本 一郎

来年のRKM総会は6月11日(火)夜の予定です。皆様、吉澤さんの願いでもある、RKMの絆がますます強くなるよう、今後共よろしく願い申し上げます。